状況に応じた意思決定により、ハイテクに精通した犯罪者に対処

デジタル詐欺とそのコストは増える一方です。複雑さも増すばかりです。損失を減らし、顧客を保護するために、金融サービスは犯罪者の一歩先を行く必要があります。

デジタル詐欺の状況

91%

2020年の詐欺件数の増加[1]

5%

アカウント乗っ取り攻撃がデジタルトラフィック全体に占める割合[2]

2060億ドル

2021年～2025年で予測されるオンライン詐欺での損失額[3]

現在の不正防止ソリューションの課題

- 限られた生体認証機能
- データを完全に把握していない
- 迅速に行動できない

5 将来を見据えた不正防止ソリューションの主要機能

- トランザクションとインタラクションを結合
- IDをマッチングして顧客を検出
- 何百万ものモデルによるハイパーパーソナライゼーションの実現
- リアルタイムのアクションで介入
- 継続的な学習と進化

単純にデータを増やすことではありません。**必要なのは、コンテキストを持つデータを増やすことです。**

4 不正検出から不正防止に切り替える手順

傾聴: トランザクションごとに、コンテキストに応じたビューを構築

把握: 顧客行動が示す詐欺のリスク

判断: 介入の要否と、介入を要する場合はその重大度

行動: 介入またはトランザクションの許可をリアルタイムで実行

3 より多くのデータをコンテキストに応じて処理することで達成される不正防止

1時間に25万の一意のカスタマージャーニーを分析（ピーク時）

詐欺事件の**70%**を検出・防止

検出によって防止できた詐欺の被害額

お客様:

世界のトップ5に入る銀行

2 お客様の成功に貢献する業界リーダー

celebrus FRAUD DATA PLATFORM

teradata.

1 優れたソリューション: Celebrusとテラデータで大規模な不正防止が可能

不正防止を小規模から大規模まで必要なパワー、スケーラビリティ、エンタープライズ分析を実現します。Celebrusとテラデータが、テクノロジーに精通した犯罪者の先を行き、詐欺の損失を減らし、詐欺の管理コストを削減しながら、顧客体験を向上させることができます。詳しくは、teradata.jpをご覧ください。

[1] Scam Advisor「The Global State of Scams 2021」
[2] Arkose Labs「How Cybercriminals Hack into a Digital Account in a Few Easy Steps」
[3] Juniper Research「Online Payment Fraud Losses to Exceed $206 Billion Over the Next Five Years; Driven by Identity Fraud」

teradata.